



語る

憲法改定や社会保障「改革」、原発再稼働、TPP参加など、多数の国民の声に反する方向に政治が進みつつある。激動のなかで日本はどこへ向かうべきなのか。それぞれの視点で会員に思いを語ってもらった。

総選挙を1週間後に控えた昨年12月8日の理事会で、私は「日本を『戦争をする国』に変えるかどうかを決める大事な選挙になる。戦争は二度としてはいけない。71年前

私が生まれた時、日本は戦争をしていた。特に戦争に思いを巡らすことなく幼少期を過ごしたが、中学4年(現在の高校1年)になってラジオで大本営発表があった。初めて戦争を意識した瞬間を今も覚えている。

同年12月に入隊して博多に集合し、香港の高射砲部隊に入ることになった。

向かうはずだった。しかし、黄浦江から東シナ海に向かう船が何度も爆撃に遭い、待機せざるを得なくなった。博多からの移動、そして船での爆撃で、知っているだけでもたくさん命が失われた。

は、蘇州に近い常熟で陣地作業をすることになった。そのうちに終戦を迎えた。だから私は、銃で撃ち合うような体験はしていない。戦地にも行かず済み、命拾いした。

戦争の悪いところは、戦争をしたくなかった人や、まったく関係のない人まで巻き込んで、何十

万人もの人々を悲惨な目に遭わせることだ。机の上で高級将校が作戦を練る。海からは行けないとなると、「陸路で行け」と簡単に命令を出す。一目で非合理的な道のり、作戦だと思いが、戦争状態では命令に従うしかない。こういう移動中に部隊の8割が死んでいった。

の今日は、日本が真珠湾攻撃し、第二次世界大戦に向かっていた日だ。戦争を経験した人間がわずかになるなかで、改めて私は戦争の無意味さを主張したい。そして、来る選挙では戦争をさせない国会議員を選びたい」と発言した。

た。高射砲部隊は空からの攻撃に敵戦する部隊である。博多から船で釜山に入り、鴨緑江(中国東北)と北朝鮮の国境の川を渡り、南京に向かった。予定では、南京から上海に南下し、船で香港に

終戦後、「お前は次男だろ。戦争残務整理をしてくれ」と言われ、中国に残り、46年7月にやっと帰阪した。博多から汽車で大阪に向かう途中、広島を通った。何もなかった。原子爆弾の被害であるところを家に帰って知った。

総選挙では、脱原発を願う国民の声も、戦争をしたくない思いも反映されない結果となった。夏に迎える参議院選挙では、戦争できる国にしたいが、戦後参議院議員に3分の2以上を占めたいために、大切な投票権を使うよう若い人たちにもう一度呼びかけたいと思う。

戦争を知らない世代へ

古田光行 (監事・城東区)

軍に入隊

多に集合し、香港の高射砲部隊に入ることになった。

向かうはずだった。しかし、黄浦江から東シナ海に向かう船が何度も爆撃に遭い、待機せざるを得なくなった。博多からの移動、そして船での爆撃で、知っているだけでもたくさん命が失われた。

は、蘇州に近い常熟で陣地作業をすることになった。そのうちに終戦を迎えた。だから私は、銃で撃ち合うような体験はしていない。戦地にも行かず済み、命拾いした。

戦争の悪いところは、戦争をしたくなかった人や、まったく関係のない人まで巻き込んで、何十

万人もの人々を悲惨な目に遭わせることだ。机の上で高級将校が作戦を練る。海からは行けないとなると、「陸路で行け」と簡単に命令を出す。一目で非合理的な道のり、作戦だと思いが、戦争状態では命令に従うしかない。こういう移動中に部隊の8割が死んでいった。

市民公開講座

原発と憲法テーマに開く

発足7周年記念し、31日に



憲法9条を守ろうと医師・歯科医師らで結成した「おおさか医科・歯科九条の会」の発足7周年を記念して、「原発と憲法9条を考える市民公開講演会」をエルおおさか(大阪市中央区)で3月31日に開く。同会では、政府が憲法改定や原発再稼働へ傾倒するなかで、改めて9条の意義や脱原発を考えたいとして、多くの参加を呼びかけている。



今号に同封の案内チラシ

メイン企画は、原子力ムラのなかで44年にわたって反原発を貫いてきた「不屈の研究者」・小出裕章さん(京都大学原子炉実験所助教)による講演「原発と憲法9条」。原発の危険性や全廃の可能性、原発と核兵器、

ウクライナの歌手のナターシャ・グジーさんが、伝統弦楽器のバンドウーラ演奏と歌を披露する。参加は無料。同会は、歯科医師・スタッフ・家族ら多数の参加を訴えている。

国会では、自民党や日本維新の会が改憲の手続きを定めた憲法96条の改定に言及し、憲法改定の

発議要件の緩和を求めている。外交問題を逆手に取り、96条を突破口に9条の改定を進める狙いが鮮明になっている。原発問題では、政府も電力会社も「新安全基準を確立すれば問題なし」との立場で再稼働・新規建設の方針を明らかにした。国民の願いに反する政治が強行されるなかで、改めて憲法の意義と役割、原発の本質的問題について問い直す。

講師・出演者の略歴

小出裕章さん (京都大学原子炉実験所助教)

講演「原発と憲法9条」

1949年、東京生まれ。東北大学工学部原子核工学科在学中に宮城県・女川での反原発闘争に触れ、原発をやめさせる研究を続けることを決意。74年に同大学大学院博士課程を修了し、同年から現職。専門は放射線計測、原子力施設の工学的安全性の分析。愛媛県伊方原発訴訟の住民側証人を務めるなど、一貫して反原発を訴え続け、「不屈の研究者」として知られる。著書に『原発のウソ』『隠される力・核の真実』など。

ナターシャ・グジーさん (バンドウーラ奏者)

演奏「バンドウーラの響きと歌声」

ウクライナ生まれ。6歳の時、チェルノブイリ原発事故が起こり、原発からわずか3.5kmのところで被曝。避難生活で各地を転々とした後、キエフに移住し、音楽学校で民族楽器「バンドウーラ」を学ぶ。1996年に民族音楽団の一員として初来日し、2000年から日本で本格的な音楽活動を開始。美しい歌声と弦音楽の可憐な響きで多くの人を魅了している。CDブック『ふるさと』など作品多数。

<休業保障ご加入の先生へ>

休んだらすぐ、保険医協会 共済部までご連絡ください

☎ 06-6568-7731

- 必ず第三者の医師の診療を受けて下さい
受診以後の休業が給付の対象です(免責5日間)
- 休業中は完全にお仕事をお休み下さい
短時間の診療や管理者としての執務も業務とみなされます
- 復業前には必ず主治医の診療を受けて下さい
※保障内容や給付要件、請求方法など詳細は共済部までお問い合わせ下さい



歯科医院テナント募集中!!

大阪掖済会病院の並びに立地
中央大通・みなと通の交差点に面します

住居表示: 大阪市西区本町2丁目1番1号

店舗面積 31.64 坪 (104.62 m²)

新築 月額賃料 357,210 円

共益費別途 ・ 普通車P2台 バイクP2台は賃料に含まれます。

吉富不動産販売株式会社 お気軽にお問合せください。 06-6214-6256 担当 和田

